横浜国立大学
「国内のグローバル化に伴う外国人の支援と地域的連携の推進」プロジェクト主催
日本語教育地域連携セミナー

第1回

難民当事者・支援者の立場からみた「ことば」「教育」「法制度」

～実体験からの声を聴く・知る・考える～

入場無料
申込不要

2016年
10月20日 木 12:30-14:40

会場： 横浜国立大学 国際教育センター３階３０６教室
http://www.ynu.ac.jp/access/index.html

本セミナーでは、難民や難民ユースのおかれている状況・課題について、難民当事者および、難民支援活動に長年取り組んでいらした支援者の立場から語っていただきます。難民や地域に定住する外国人にとって、ことばの習得は自立のための大きなよりどころの一つであり、日本語学習の支援は欠かせないものですが、それだけでは解決できない問題が数多くあります。教育、労働、住居、社会保障などにかかわる教育支援、法的支援と連携し、難民や外国人住民が自立して力を発揮していけるようにすることが、地域社会を豊かにしていくことにもつながります。

当事者や支援者の経験や思いについて生の声を聴いて理解を深め、共に同じ地域で暮らす市民としての自分たちの在り方、行動の仕方を考えていきたいと思います。

講師

Truong Thi Thuy Trang （トルオン ティトゥイ チャン）氏
（横浜市泉区役所外国人相談窓口相談員, ベトナム語通訳）

➢12 歳の時、ベトナム難民として家族と海を渡り来日。日本の学校教育の中で多くの苦難も体験しながら、乗り越え、自らの道を切り拓く。現在は、行政機関の外国人相談窓口、教育機関、医療機関等で相談員・通訳を務める傍ら、各地で、平和、人権、国際理解教育に関する講演等を行っている。

櫻井弘子 (さくらい ひろこ）氏
（特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会 会長）

➢1980年代初頭より難民を主とする外国人定住者への日本語活動を始め、かながわ難民定住援助協会において日本語教室のコーディネート、生活相談を行うとともに、定期的に弁護士による法律相談（通訳付き）も開催し、定住外国人等の生活や思いに寄り添った自立援助を続けている。

司会： 矢部まゆみ（横浜国立大学 国際戦略推進機構 非常勤講師）

対象： 本学学生・教職員・一般の方

お問合せ： 横浜国立大学国際戦略推進機構 日本語教育部 講師 半沢千絵美
E-mail: hanzawa-chiemi-mz@ynu.ac.jp